議会報告会実施報告書

開催日時		平成27年10月27日 19時00分 ~ 20時10分
開催場所		加茂公民館
出席議員		(司会) 吉田耕一 (記録) 植原 泰 (議長) 前川昌也 (班員) 植原 泰,脇 芳美,若谷修治, 茨 智仁,松成国宏,吉田耕一
参加市民数		15人(男性11人,女性4人)
	議会報告	 ・開会挨拶 前川昌也 ・出席議員自己紹介 ・委員会報告 総務消防委員会 松成国宏教育民生委員会 茨智仁市民建設委員会 若谷修治坂出北フルインター建設促進特別委員会 茨智仁 ・質疑応答 ・意見交換会 ・閉会挨拶 前川昌也
実 施 内 容	質疑応答	 〈質疑〉 坂出北インターチェンジのフルインター化がいつ完成予定か。 〈答弁〉 現在は、国が主導で調査をするスマートインターチェンジ準備段階調査箇所全国 17 箇所のうちの 1 つに選ばれた段階で、選ばれたイコール開通となるわけではなく、これからクリアしてゆくハードルが多く残っています。準備会を設立し、国・県・市で協議会等々を立ち上げて進めていくので、いつ開通ということは、申し上げることができないのが現状です。 〈質疑〉 国のほうで何カ所ぐらい作る予定なのか。 〈答弁〉 先ほどの発言を補足すると、準備会は国(国土交通省)と県と市と公団とで設立するのですが、その中でルート等について協議し、その後、内容の報告がある予定です。それを受けて地元と協議会を立ち上げ、反対等があるといけないのですが、その中で 0K となると進んでいくことになります。今まで全国的に見ると準備会ができてから開通に到るまで大体3年くらいかかっている所がほとんどだと思いますが、まだ、17箇所の中で選ばれるかどうかはっきりしていないので、ルートとか色々な関係がありま

すので, 通常でしたらそういうかたちになるのですが, その辺で ご了解いただきたい。

<質疑> 今日の報告会の内容とは関係ないが、私どもの地区は 国道が通っていて、その北側はほとんどが農業振興地域で、これ は、当初20年で、解けるといわれてきたが、30年たっても解除さ れない。これを議会のほうから農業振興地域をはずすような話を してもらえないか。

<答弁> その問題につきましては、持ち帰って議員の側で協議して改めて報告させていただきます。

<質疑> 大局は分からないが、我々にとっては地域の問題が大きい。子どもの支援については県や国から税金が出ている。今から先、高齢化になってきた時どう対応していくのか、以前議会報告会で発言した時に「検討します」と言われたが具体的なものが1つもない。例えば加茂の保育所の問題、定員が満員、駐車場がなく、場所も狭い。そういう大きな問題が1つある。

意見交換

次に老人憩いの家についてもあそこに誰が行くのか。車椅子を押していく人はいない。そういう場所にある。高齢化社会になっており、認知症になってきた時どこに連れて行くのか。市の方がある程度対応していかないと解決しない。そういう身近な問題から解決してもらいたい。加茂地区は3,000人の人口があるが、1/3は65歳以上で、もう少しすれば40%になる。その問題の解決策を考えているのか。以前の報告会で、この問題を話したが返答がない。市役所の建替えやフルインター化、駅前の整備などの大きな問題より地元の身近な問題を考えてもらいたい。

<答弁> 色々なご意見をいただいたのですが、後で各それぞれのことについて担当委員長から説明させていただきます。今言われたことは加茂だけの問題ではなくて全国的にも高齢化が進んでいます。国のほうも2060年に人口1億を維持する為に総合戦略を作ります。今月末が締め切りで各自治体も国に対して地方版総合戦略を作り、いわゆる人口規模であるとか、そういった計画が議会のほうに報告されました。今後、今言われたような具体的な施策を詰めていき、坂出の人口減少に歯止めをかける。市のほうも具体的に動き出したので、貴重なご意見として受けまして、1つ1つ具体的な政策でお答えできたらと思います。

<答弁> 加茂の保育所の駐車場の問題ですとか、場所が狭いとか、老人憩いの家がなかなか行けないところにあるとかの1つ1

つの問題については今日われわれ聞きましたので、そういったことは担当課と相談していきながら出来る限り、今まで加茂地区でも要望とか出されていると思うのですが、財源も伴います。出来る限り当局へは伝え、解決策も見出したいと思います。憩いの家もこの辺にあるといいんですが、場所とかいろいろな問題も含まれていますので検討させていただいて、身近な問題を聞かせていただき、議会で協議し、できるだけ良い答えができるように今から進めて行きたいと思っています。

<答弁> 加茂地区の議員として、老人憩いの家の要望は市にしています。ただなかなか重い腰を上げてくれないというのが現在の実情です。加茂の保育所の駐車場のことや高齢化のことも 5 人に1人から4人に1人の時代になると全国的に言われています。様々な取り組みが必要になってきます。われわれ市議の力だけでは出来ないことも有りますので、県や国の力を借りてわれわれの意見もしっかり言ってその方向に進めていきたいと思っています。

<答弁> 先ほどの加茂の保育所の駐車場の件ですが、親御さんのほうから子どもの送り迎えの際に路上駐車して危険なのでということを市のほうに話してありますので、現状を分かっているとは思います。議会としてもプッシュしていきたいと思います。

<質疑> 毎日のようにイノシシが出てきて困っているが、市の方でもう少し対応してもらえないか。

<答弁> イノシシでしたら鳥網を無償で提供してもらい、それを張って防御するとか、電気の線を使って防御してもらっている。 <要望> いっこうに効果が無い。それを言っても限が無いので市のほうに要望して終わります。

<要望> 先ほどイノシシの話を聞いて驚いたのですが、山のほうまで子どもやお年寄りが行くことは無いと思うが、電気の線は触れると危険なので安全面にも対応してほしい。電気の線で亡くなられた方がいるというニュースもあったので、表示等をしてもらえたらと要望します。

<答弁> 電気柵の件で死者が出たというニュースの件は、電気柵に安全装置が設けられてなかった。通常は動物や人間が柵に触れると安全装置が働いて切れるような装置を付ける規則になっています。規則どおりにしてもらえれば安全ではあるそうですが、あの事故の場合は、不幸に不幸が重なって起きたのとミスもあるし、電気と水が相性がいいために起きた。水に濡れると電気が流れ易くなり感電し易いという不幸が重なったものでもあります。

全国的にもきちんと規則通りに設置されていれば安全だとは言われています。

〈答弁〉 体験談として、私は農業共済に勤めていた頃、収穫時期に田んぼに行った際、電気柵に触れて感電しました。確かに触れると頭まで電気が流れびっくりしました。先ほど出た事件は、時間帯によっては電気を切っておけるようになっていますので安全に使っていただければ事故は起きなかったとは思いますが、要望されていたように小さいお子さんが触れたりすると心配ではありますので、危険表示の設置や正しい使用をしてもらうように市の担当課、JA、農業共済を含めた関係機関に連携していただき、安全に設置してもらうように要望してまいります。